

運動会でつきたい力

本校で取り組んでいる道德教育は、道德の授業だけで取り組むものではありません。道德で育む内容項目は、低学年19項目、中学年20項目、高学年22項目あります。その内容項目は、学校教育活動の全体で身につけていくように取り組んでいます。

今回の運動会で付きたい力は、「みんなで協力し合って運動会を成功させよう」（集団の中の一員として）です。そのために、低学年では、「あきらめないでがんばる心」（努力・強い意志）、中学年「協力」（信頼友情、集団生活の充実）高学年「挑戦」（希望と勇気・強い意志、集団生活の充実）です。それぞれの子どもたちが、あきらめずにがんばる姿や仲間と協力して取り組む姿、自分たちの手で運動会を創り上げる、挑戦していく姿をたくさん見せてくれることだと信じています。

子どもたちの無限の可能性を引き出すために、学校でも全職員で取り組んでいきます。暑さも厳しい日が続いています。ご家庭でも子どもたちに「暑いけどがんばっているね」などがんばりをしっかり認めながら、「運動会楽しみにしているよ!」というプラスのメッセージを伝えていただければと思います。子どもたちの一番のエネルギーは保護者の方の褒め言葉です。

子どもたち一人一人が輝く運動会に向けて、龍野小職員一同で取り組んでいます。

道德科の授業紹介 第3学年「よく考えて」&「どんどん橋の出来事

学校の帰り道、どんどん橋の下で渦が巻いているのを見て、棒きれや草を渦の中に入れて遊んでいました。友達のまこと君が自分の傘をいれたところ、無事に傘が渦の中から出てきました。すすむ君も傘をいれ、無事に渦から出てきました。ただ、正君は、「ぼくはしない」と断ります。その様子を見ていた主人公のぼくは、まよいながら、渦の中に傘をいれてしまいます。すると、傘はぼろぼろになって浮き上がってきました。その壊れた傘を見て自分の行動を考えるという話です。



3年生の子どもたちはとても真剣に考えていました。「ぼろぼろになった傘を見たぼくはどんな気持ちだろう?」ということでは、「もう絶対しない」「正君のように断ればよかった」「傘で遊ばなければよかった」「どうなるか考えて行動すればよかった」など、たくさんの意見が出てきました。3年生は発表するときも〇〇さんと似ていて、ちょっと違ってと、友達の意見をしっかり聞いていました。最後は、永野先生から「後悔先に立たず」と「失敗は成功のもと」ということわざを教えてもらいました。

3年生の子どもたちは、「よく考えて行動する」ことの大切さについて、真剣に話し合ったとてもステキな道德の授業でした。

